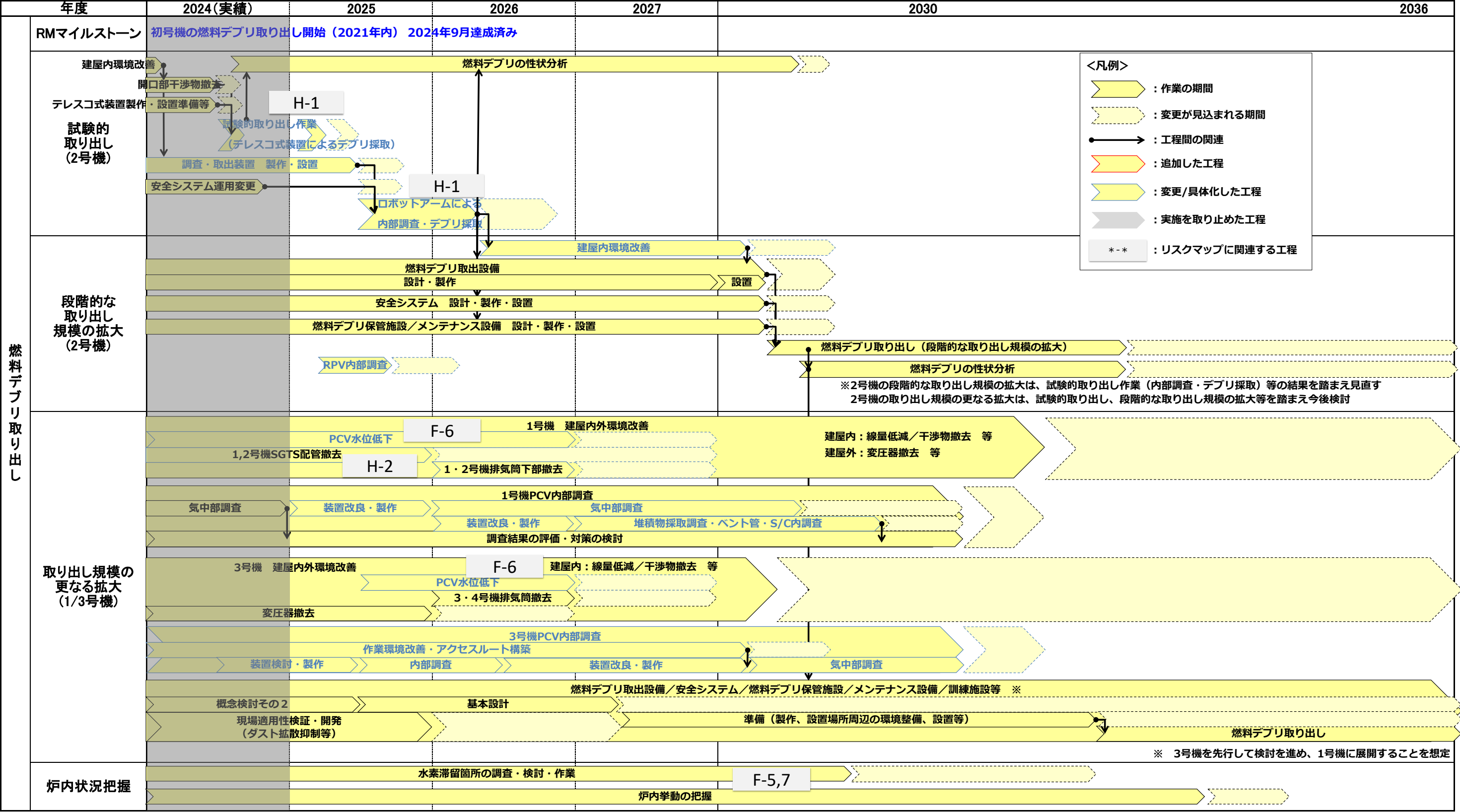


1 / 3

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	廃炉中長期実行プラン2025 目標工程	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月以降	備 考	
					29	30	1	6	13	20	27	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中			下
		P V ／ P C V 健全性維	圧力容器 /格納容器の 健全性維持	(実 績) 3号 (予 定)	現場作業																							
				(実 績) ○腐食抑制対策 ・窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施 (継続)	検討・設計																							
				(予 定) ○腐食抑制対策 ・窒素バブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施 (継続)	現場作業																						(継続実施)	
		炉心状況把握	炉心状況把握	(実 績) ○事故関連factデータベースの更新 (継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 (継続)	検討・設計																						(継続実施)	
				(予 定) ○事故関連factデータベースの更新 (継続) ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新 (継続)																							(継続実施)	
				(実 績) ○2号機燃料取扱機操作室調査の実施 ○2号機原子炉建屋内調査 (地下階三角コーナの状況確認) ○3号機原子炉建屋内調査の実施	現場作業																							○原子炉建屋内調査 (地下階三角コーナの状況確認) '22/12/2～'23/1/11 (片付け含む) ○3号機原子炉建屋内調査 '24/5/13～'24/6/14 ○1号機X-25ベネトレーション近傍の直営調査 (アクセス性確認) '24/11/18～'24/11/27 (準備、片付け含む)
				(予 定)																								
燃料デブリ取り出し準備	●燃料デブリの処理・処分方法の決定に向けた取り組み	取出後の燃料・デブリ安定保管	燃料デブリ性状把握	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等 (継続)	検討・設計																						(継続実施)	事業名称：燃料デブリの性状把握のための分析・推定技術の開発 期間：2025年度～2026年度
				(予 定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等 (継続)																								
					現場作業																							
		燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発	燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 (継続) 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発 (完了)	検討・設計																						(継続実施)	事業名称：燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 期間：2025年度～2026年度
				(予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 (継続)																								
					現場作業																							

- 凡 例
- ： 検討業務・設計業務・準備作業
 - ： 現場作業予定
 - ： 機器の運転継続のみで、現場作業（工事）がない場合
 - ： 記載以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載
 - ： 工程調整中のもの



<凡例>

- 作業の期間
- 変更が見込まれる期間
- 工程間の関連
- 追加した工程
- 変更/具体化した工程
- 実施を取り止めた工程
- *-* : リスクマップに関連する工程

注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る